

令和 4 年度

学校関係者評価 報告書

学校法人 青池学園

富山リハビリテーション医療福祉大学校

富山リハビリテーション医療福祉大学校

学校関係者評価報告

学校法人青池学園 富山リハビリテーション医療福祉大学校は、教育理念、教育目的等をはじめとする学校教育及び学校運営について自己点検・自己評価を実施し、「令和4年度 学校自己点検・自己評価報告書」を取りまとめ、当校のホームページに公表いたしました。

また、学校関係者評価委員会におきまして、当校に関連する企業・業界の方々や教育関係者の皆様より当校の学校教育及び学校運営に対し、幅広くかつ的確なご意見、ご指導を賜りました。頂戴いたしましたご意見等につきましては「令和4年度 学校関係者評価報告書」としてご報告させていただきます。

今後は、委員の皆様から頂戴いたしました貴重なご意見やご指摘を真摯に受け止め、大いなる気づきとし、社会のニーズに応えられる学生指導と教育の質の保証及び向上を目指し、教職員一同邁進して参る所存でございます。

関係者の皆様には、今後とも尚一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年11月8日

学校法人 青池学園

富山リハビリテーション医療福祉大学校

校長 神田 聡

令和4年度学校関係者評価委員会 開催概要

富山リハビリテーション医療福祉大学校

1 開催日時

令和5年11月8日（水）16：00～17：40

2 開催場所

本校6階講堂

3 出席予定者（学校関係者評価委員会委員一覧表）

	学校関係者評価委員	所 属	役職名
1	西能 淳	（外部委員） 特定医療法人財団五省会	理事長
2	荒井 公浩	（外部委員） 学校法人荒井学園	理事長
3	川島 一郎	（外部委員） 株式会社斎藤経営	
4	青池 浩生	学校法人青池学園	理事長
5	神田 聡	富山リハビリテーション医療福祉大学校	校 長
6	中川 等史	富山リハビリテーション医療福祉大学校	教務課長
7	西潟 央	富山リハビリテーション医療福祉大学校	教務課長
8	竹中 誠	富山リハビリテーション医療福祉大学校	主 任
9	焼田 幸百美	富山リハビリテーション医療福祉大学校	事務長

4. 学校関係者評価委員会次第

- ① 開会
- ② 理事長挨拶
- ③ 学校関係者評価委員紹介
- ④ 本校教職員紹介
- ⑤ 委員長選任
- ⑥ 自己点検・評価結果についての説明
- ⑦ 意見交換
- ⑧ 閉会

5. 富山リハビリテーション医療福祉大学校「令和4年度自己点検・自己評価報告書」に関する審議・評価

〈自己点検・自己評価について〉

評価項目	評価・意見
基準1 教育理念・目的	・体験入学時に学校の姿勢を伝えている。入学後は新入生研修においても話をしている。学生のしおりを配布、面談やホームルームなどで定期的に学生に伝えている。 ・学生のみならず理念や学園の教育方針・目標について全職員が理解を深め、学生への周知を継続していく。
基準2 学校運営	・大枠としての組織図に沿った業務分掌と責任区分があり、責任区分が不明瞭になり、業務負担量についても教職員から定期的にモニタリングを行う必要がある。 ・業務分掌の細分化、担当統括の明確化、教職員の業務内容については見直しを継続していく。
基準3 教育活動	・コロナ禍継続によるオンライン授業にて学生の学びの程度のフィードバックが難しい事があった。 ・教職員への研修目的で外部講師が講演を行った。 ・授業評価を学生から受けて授業の改善や工夫ができた。授業全体をカリキュラムツリーで可視化した。
基準4 教育成果	・理学療法科・作業療法科とも国家試験合格率・就職率とも100%であった。 ・一定数の退学者（約5%）があり、これに対する対応・対策は継続していく。 ・コロナ禍で課外活動は減らしていた。
基準5 学生支援	・経済的に不安を抱えている学生については修学資金や日本学生支援機構など、既存の奨学金の情報を提供し、学費の分割納入などにも対応・相談に応じている。 ・心理的不安を抱える学生に対しては、ミーティングで共有、面談、父母等との連絡を密にとり、スクールカウンセラーの配置を検討している。
基準6 教育環境	・一年に2回、防災訓練を実施し、職員および学生ともに危機管理意識を高めている。 ・海外語学留学の案内を行っている。
基準7 学生の受入れ募集	・体験入学やイベント、高校へのガイダンスなどを魅力あるものにする事や他校との違いをアピールしている。体験入学やイベントに学生・生徒が参加しやすい方法を検討し実施している。 ・パンフレット、HP、ブログ、インスタグラムの充実を図っている。
基準8 財務	・ホームページにて財務状況を公開している。 ・入学者数の確保は、学校の財務基盤にも深く影響するため、入学定員を満たすよう広報と連携した今までのプロモーションの見直し、新しい戦略が継続して必要である。

基準9 法令等の遵守	・個人情報については学校全体で保護を図っている。特に個人データ、外部秘データ取扱いの注意は周知徹底、意識啓発を継続的に行っている。
基準10 社会貢献・地域貢献	・学校も学生も地域に受け入れてもらえるような地域社会と連携する取り組みを行っている。学校全体で意識してボランティア活動を支援していたが、コロナ禍の影響で今年度は積極的に活動を奨励できなかった。 ・就労支援事業所ヴィストから就労訓練生を受け入れている。 ・富山市からの要請で妊婦へ腰痛防止指導教室「ままのわ」に職員を派遣している。

6. 今後の取り組み

各委員からの貴重なご意見、ご要望を真摯に受けとめるとともに、当面する課題を検討・改善し今後の教育活動に活かして参りたいと思います。特に専門職を目指すためのより実践的なカリキュラムの充実、本学園の教育方針である「人間力」、「実践力」、「社会力」の3つの力の育成に向け指導を徹底することなど、令和5年度中にさらに体制を強化し、学校運営に活用して、より良い教育の実践を通して学生の育成に努めます。

以上